山形県の古木・名木 No.30

熊野神社の大スギ（くまのじんじゃのおおすぎ）

鶴岡市水沢字熊野前53

鶴岡市大字水沢、熊野神社の背後にあって、古くから「石山の大スギ」の名で知られていた。ゆるい斜面にあるため北側は南側より1.2mばかり高く、高地面での根周は15m、その上1.5m（目通り）幹周は10mである。

昭和２年、史跡名勝天然記念物保存法による天然記念物の指定を受けた当時は、高さ45mに達する巨樹であったが、昭和７年の落雷、昭和32年の台風によってその主幹はおよそ24mで折損した。樹齢は一千年を下らないものと推定される。〔山形県森林協会〕

（案内略図）

熊野神社の大スギ

【森林やまがた54号（2001年９月）記載】